



公益財団法人SAJ

SAJ Farm 通信

vol.80
2017年 3月号

公益財団法人
School Aid Japan
〒144-0043
東京都大田区羽田 1-1-3
TEL: 03-5737-2773
FAX: 03-5737-2793
<http://www.schoolaidjapan.or.jp>

SAJ Farm 発電中!!

皆さんこんにちは。カンボジアは3月に入り徐々に気温が上がり暑くなってきました。去年はほとんど雨が降らなかったのですが、今年はおごろからぽつぽつとまとまった雨が降りました。おかげで水が不足し元気のなかったレモンが青々と生気を取り戻してきました。今月は講習会、農場の様子と太陽光発電について報告を行いたいと思います。



南側に設置されたソーラーパネル



太陽光発電蓄電、変圧設備

◇太陽光発電開始

SAJ Farm では、周りに民家がないため、電柱電線が無く、公共の電気を引いてくることができませんでした。近くにある工場にも交渉しましたが、たびたび停電になるため、電気を分ける余裕が無いと断られてしまいました。そのため夜は発電機を動かしてポンプで井戸水を汲み上げたり、パソコンや給湯器を動かしていました。しかし発電機を動かすにも軽油が大量に必要になるため、別の方法で電気をまかなう方法を考え、太陽光発電に注目しました。太陽光発電であれば最初に設置費用がかかりますが、燃料は太陽光のため燃料代はかかりません。農場に必要な電氣量を計算し、ソーラーパネルやバッテリーなど必要な部材をプランペンで購入。自分たちで宿舍の南側階段に屋根を兼ねて取り付けました。発電を開始してわかったことは、給湯器を動かすには電力が足りませんでした。夜間パソコンの充電、扇風機を動かすには十分の電力が溜まりました。またポンプは他の機械を使わなければ、水を十分汲み上げることが可能でした。結果として発電機を動かすために必要としていた軽油が、月当たりで300Lから30Lまでおよそ10分の1にまで削減することができそうです。設置費用もこのまま行くと5ヶ月くらいで回収できそうですが、天気が安定しない雨季は発電機も併用して足りない電氣量をカバーしていく予定のため、一年間運用して様子を見ていこうと思います。



堆肥作成風景

◇堆肥撒き、堆肥作成

3月堆肥をレモングラス畑に撒き、新しい堆肥の作成を行いました。レモングラスはカンボジアでは雑草として扱われるぐらい強い植物です。しかし何度も収穫を行うと、徐々に葉が短く細くなり回復スピードが落ちてきます。その為 SAJFarm では収穫を2回行った後に、畑に堆肥を撒くようにしています。堆肥を撒いた後堆肥場にスペースができれば直ぐにその場所で堆肥を作ります。蒸留で使ったレモングラスの残渣と鶏糞、コーヒー粕、牛糞を重ねて積みます。そして3ヶ月以上堆肥場で寝かせてから畑に施肥します。多種類の原料を入れたほうが、栄養バランスの良い堆肥ができあがるそうです。



講習会堆肥作成の様子

◇農家さん向け講習会

契約農家のチャンダーさんの畑で講習会を開催しました。今回はチャンダーさんの畑の一角で堆肥作りを行いました。参加者は近隣の農家さん4名と農場スタッフ7人。最初に堆肥の作り方を説明しました。堆肥は鶏糞と稲藁を交互に何層にも重なる様に積み、最後に適度に水を与えて、直射日光や雨が当たらないようシートを被せます。このまま堆肥の温度が上昇するのを確認し、3ヶ月以上経ったら堆肥の完成となります。堆肥の作成後は、近隣の農家さんと一緒に食事会を開きました。農家さんたちも日本人スタッフにもよく話しかけてくださり、とても和やかな一時を過ごせました。



青々としてきたレモングラス

◇3月の雨

3月の中頃から SAJFarm ではまとまった雨が降りました。最近カンボジアでは天気予報をラジオでやっているらしく、ラジオを聞いた農場のスタッフが雨が降ることを教えてくれました。以前乾期中の雨は恵みの雨と書きましたが、この3月の雨は間違いなくレモングラスにとっても私たちにとっても恵みの雨となりました。葉先が茶色く半分枯れてしまっていた葉が、見る見る生氣を取り戻し、写真のように青々と茂るようになりました。3月にこのようにまとまった雨が何度も降るのはめずらしいそうです。私達も雨が降ると乾期の暑さが和らぐのでとてもありがたく思います。